

ベンチャーチャレンジ職員育成事業 [研究実施の流れ(例)]

応募

事業指定・伴走支援(研修センター)

必須になっている現地調査、民間等との連携、事業化を目指しているか等の観点から事業を選定し、事業指定後の伴走支援を実施

プロフェッショナル支援

多種多様な分野の民間企業と繋がりのある政策コンサルタントを通じ、研究に必要な連携先を模索する提案者に民間団体等を紹介・斡旋



研究テーマに応じたグループ活動の開始

「子育て支援研究」の場合

◇プロフェッショナル支援

社会福祉法人南山城学園等の福祉の専門家派遣による事業の方向性の確認や先進事例の紹介等のアドバイスから提案事業のブラッシュアップ

◇先進地調査

日本の保育園に相当するプリスクール、ライセンスを得た個人宅で少人数を預かるファミリーチャイルドケアや研修を受けた13歳以上ならベビーシッターとして子供を預かることができるカナダBC州を視察

政策提案力向上研修 研究採択後の全職員対象

【研修項目(予定)】

- オリエンテーション(自己紹介等)、政策形成概論、模擬政策提案
- 先進事例紹介(事業化のイメージを抱く)、チャレンジ精神の涵養
- 政策形成の基本知識の習得(現場での情報収集、現状分析、課題発見・解決等のノウハウの習得)
- エビデンスに基づいたデータ解析及び具体的活用のノウハウ習得
- 効果的な資料作成、話し方など、プレゼンのノウハウの習得

中間報告

研究活動の進捗状況を報告するとともに、政策研究支援課長(大学教授)や関係部局職員との意見交換等を実施することにより、今後の研究に役立てる

研究成果報告

政策研究支援課長(大学教授)や関係部局長等に対し研究活動の成果を報告するとともに、研究者間での意見交換、振り返りを実施

二役報告

二役、部局長等へ成果報告(資料報告を予定)

重点事業支援

二役報告において、優秀な提案と評価された研究の事業化に向けた部局との研究を支援

PR活動

研究成果の府HPへの掲載など、府民等に向けたPRを実施

次年度の当初予算要求・事業化へ